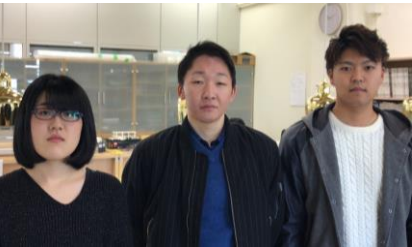


Pick Up News

大学院生の二級建築士資格試験合格、3年生3名の宅建物取引士試験合格、大学院生の設計コンペで最優秀賞の受賞、本学科教員の学会賞受賞、海外での招待講演など、学科学生・教員の力が大いに発揮された一ヶ月でした。12月21日には、本学科主催の「東北を支える建設関連企業(OBOG)と学生・学科との交流会」が開催されました。これから自らの進路検討に入る3年生と大学院1年全員が参加したこの会は、50年の伝統、社会で活躍する多くの卒業生を輩出してきた建築学科ならではの企画です。本学科の学生を応援して下さるたくさんの方の企業と卒業生が参加しました。いよいよ2017年も終わりに差しかかっています。一年を振り返り、新たな一年への決意を込めて新年迎えて下さい。特に4年、M2はラストスパートの1ヵ月。実りある成果が結実することを期待しています！



【宅建物取引士3名が合格！】宅建士資格取得の支援講座受講生の中から3名の合格者！授業の課題の合間を縫って努力してきた成果が出ました。
(左)小野寺紗希さん:毎週の講座に加え、夏休み以降は過去問を毎日15問解くことを目標に勉強した。また過去問を解く際は、解説を完全に理解することを心がけることでより本質的な理解を目指した。今後は登録実務講習など、取引士証の取得を目指して頑張ります。(中)高橋雄平くん:宅建試験は過去問を解くほど高得点につながると思った。また、予習、講義、復習、過去問を繰り返すことで合格できた。本試験では初めて見る問題もあったので目標点数を高くて学習を進めていくといいと思った。(右)米田一くん:私は本試験までに過去問集を5、6回繰り返して、テキストの内容を丸暗記した。これから宅建に挑戦しようと考えている人は、過去問を何回も繰り返していけば、合格できる資格試験だと思うので頑張ってください。

【アイデア・実施設計コンペで本学卒業生と大学院生との共同提案が最優秀賞受賞！】日本建築家協会東北支部宮城地域会主催の金蛇水神社参拝者休憩所リノベーションコンペ。全国から応募のあった中から齋藤和哉さんとM1高橋雅人さん(福屋研)の案が最優秀賞に輝きました。これから実際に改修され、実現する予定です。(中:齋藤和哉さん、右:M1高橋雅人さん)

【企業(OBOG)との交流会開催！】建築学科の独自企画である企業(OBOG)と3年生・大学院1年による交流会が開催されました。本学科を応援して下さる建設関連企業62社から150人、学生150人、参加企業への内定者4年生とM2が30人、その他学科教員合わせて350人の大イベントとなりました。昨年、学科50周年を記念して始まった企画です。



第一部「図鑑」による企業紹介



第二部 自由な雰囲気の中での交流会



【二級建築士試験に合格！】大学院M1(不破研)の佐々木七波さんが、難関の二級建築士試験に合格。現役大学院生での合格は、本学では久しぶりの快挙です。「毎週末資格学校に通い、受験勉強に励みました。課題に取り組む時間を確保するのが大変でしたが、合格することができて、頑張った甲斐がありました！」(佐々木さん)

【新井准教授が都市住宅学会業績賞受賞】仮設住宅や災害公営住宅への継続的な支援活動とその成果が復興コミュニティデザインの先進的な事例として評価されました。



【中国・瀋陽で2教員が特別講義】本学科との協定校である東北大学(中国)で石井教授が高齢者施設の計画について、竹内准教授がコミュニティアーキテクト論について招待特別講義を行いました(11/24)。100名を超える学生が熱心に聴講しました。



Pick Up Lab.

福屋研究室は、建築デザインを学ぶ研究室です。大学院生6名と4年生9名、3年生10名で活動しています。デザインの世界は日々進化しています。古くからの地域の知恵や資源と21世紀の技術をあわせて、よりよい建築デザインや街並みをつくることを研究しています。今年は、被災した漁村の集会所を大工さんと作るプロジェクト、不要木材を再利用したCLTによる木造デザインをはじめました。学生時代にしかできないコンペへの挑戦や留学、海外・国内のインターンシップも応援しています。世界・日本各地からのゲスト・他研究室のレクチャー・交流も積極的に行ない、アクティブに活動しています。



長町キャンパスの伐採木材運搬



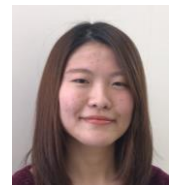
ドローンによる3D測量の実習(中原大・李さんの指導)



4年 鎌田 匠くん
山形工業高校 出身

Pick Up Student

祖父が大工、父が設計士という建築一家に生まれ、「匠」という名前をもらい、幼いころから建築を仕事にすることが私の夢でした。大学で課題に追われる日々が少しずつ建築に関する興味を明確にしてくれました。建築材料という分野に興味を持ち、参加した大工塾では植樹から製材、出荷するまでのプロセスを見学し、日本が抱える木材についての様々な課題を考えさせられました。地元の総合建設業に内定をいただき、現在は日本の空き家問題について卒業論文に取り組んでいます。建築という広い分野の中で自分が夢中になれるテーマに出会えたのは日々の講義、課題に前向きに取り組めたからだだと思います。皆さんも1日1日を大切に、大学生活を充実したものにして下さい。



2年 三浦 真梨さん
富谷高校 出身

Pick Up Student

今年度も終盤を迎え、テストやレポート等で忙しい時期になりました。1年生の頃と比べて、2年生は講義も一段と難しくなり課題も増え大変で忙しいです。しかしその分達成感があり、自分自身知識が身につくようになってきていると感じます。3年生になるとデザインコースとシステムコースという2つのコースに分かれ、より専門的なことを学んでいきます。そろそろ選択しなければいけない時期ですが、私はまだ決め兼ねています。残りの数ヶ月で自分の学びたいことやその先の就職のこと等を深く考え、コース選択していきたいと考えています。その為にも、今後は講義で学んだことや与えられた課題に限らず、建築に興味を持ち自主的に学んでいきたいと思っています。